



## 大耶馬溪博覧会 第二弾

へぎどうけつ  
「粉洞穴と縄文の人生」展開催について

担当：歴史博物館 丸山・高崎（電話 0979-23-8615）

発見から 52 年を迎える中津市本耶馬溪町の粉洞穴（県指定史跡）は、今からおよそ 10000 年前から 3500 年前（縄文時代早期から後期）にかけて住まいや墓地として利用された、大分県を代表する洞穴遺跡です。これまでに 8 次にわたる発掘調査が行われ、当時の社会を知ろうと貴重な成果となっています。今回の展示では、洞穴の発見から調査、遺跡の価値に再び光をあて、市民の皆様に、地元にある大変貴重な遺跡を知って頂きたいと思えます。

8 次にわたる発掘調査で大きな発見となったのは 68 体の縄文人骨です。粉洞穴に葬られた縄文人は、闘いによって命を落としたもの、母子と一緒に葬られたもの、体を切断されたものなどさまざまです。彼らはどのような人生を送ったのでしょうか。粉洞穴や他の縄文遺跡の調査研究成果から、縄文人の人生を考えます。

**展覧会情報**

会 期：令和 4 年 7 月 9 日（土）～8 月 21 日（日）

会 場：中津市歴史博物館

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休 館 日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

観 覧 料：一般 300 円、団体 100 円（20 人以上）、中学生以下無料

主 催：中津市歴史博物館

◎メディア向け説明会を 7 月 12 日（火）10 時より開催します。

**主な展示資料**

【粉洞穴調査関連資料・出土資料（別府大学附属博物館、当館、長崎大学医学部等）】

発掘調査を行った別府大学が所蔵する、土器、石器、アクセサリなどの資料を展示し、粉洞穴の縄文文化を紹介する。そのほか、調査時の写真、記録、調査に参加した卒業生や、小学生だった地元の方にお話を伺い、当時を振り返る。



画像提供：別府大学附属博物館



縄文時代前期成人男性



粉洞穴出土貝輪（サルボウガイ）

【他県縄文遺跡出土資料（青森県立郷土館、<sup>さんのへまち</sup>三戸町教育委員会、岩手県立博物館、<sup>ひがしみょう</sup>東名縄文館など）】

粉洞穴の縄文人はどのような人生を送ったのか。子ども～大人～老人をキーワードに縄文人のライフヒストリーを表現する資料を紹介する。



「赤ちゃん土偶」

画像提供：

三戸町教育委員会



重要文化財「<sup>おおしいたい</sup>大石平遺跡出土品 <sup>てがた</sup>手形、<sup>あしがたどせいびん</sup>足形土製品」

画像提供：青森県立郷土館



「<sup>たいしゆ</sup>ヒスイ大珠・<sup>けつ</sup>丸玉・<sup>けつ</sup>玦」

画像提供：佐世保市教育委員会

## 関連イベント

### ギャラリートーク（要予約 定員各 15 名）

① 7月10日（日）10：00～ ②8月14日（日）14：00～

会場：中津市歴史博物館 観覧料（300円、小中無料）が必要です。

### 記念講演会

#### 「縄文の人生（仮）」（要予約 定員 100 名 無料）

講師：<sup>やまだやすひろ</sup>山田康弘氏（東京都立大学）

日時：7月24日（日）13：30～14：30 会場：リルドリーム

### ワークショップ

#### 「貝輪をつくろう」（要予約 定員 10 名 無料）

日時：7月16日（土）10：00～12：00 会場：中津市歴史博物館プレイスタジオ

#### 「縄文の編みかごをつくろう」（要予約 定員各 10 名 無料）

講師：<sup>にしだ いわお</sup>西田 巖氏（佐賀市地域振興部文化財課）

日時：8月6日（土）①10：00～12：00 ②13：30～15：30

会場：中津市歴史博物館プレイスタジオ